

期待される効果の一例

★両研修とも、参加者同士の交流やつながりも期待できます。

カリキュラム・デザイン・コース

- 学校教職員 — どのように学校全体で環境教育・ESD推進すればよいか演習を交えて学ぶことができる。
- 教育委員会 — 教職員向けの環境教育・ESDの実践研修の企画の参考になる。
- 行政関係者 — 環境教育・ESDの現状・課題等を施策等に反映できる。

プログラム・デザイン・コース

- 学校教職員 — 体験活動の実践や企業・団体等と連携する方法等について学ぶことができる。
- 行政関係者 — 体験の機会や体験活動などの環境教育プログラムの実践を理解することにより、施策等に反映できる。
- NPO・企業関係者 — 他社・他団体の環境教育プログラムを知り、自社・団体の取組に生かすことができる。

過去参加者からの声

カリキュラム・デザイン・コース

基礎編 (オンライン研修)

- 日々の教育活動の中に、ESDにつながる実践が多くあることに気づいた。
- 地域の課題と自分の将来を掛け合わせた探究のヒントを得て、今後の道筋が見えた。

実践編 (対面研修)

- 学校現場で実践する上で意識すべき点を具体的に学ぶことができた。
- ESDカレンダーの作成方法や教科横断での連携、ホールスクールアプローチの進め方を学ぶことができた。

プログラム・デザイン・コース

基礎編 (オンライン研修)

- 環境教育に取り組む中で、他の企業でも共通する悩みや課題があることを実感した。
- 学校と企業等の連携を考えるためのヒントを多く得ることができた。

実践編 (体験型研修)

- 多様なバックグラウンドを持つ参加者と交流し、日頃から抱いていた疑問や課題について意見交換ができた。
- 体験を取り入れる重要性を学び、プログラムづくりに活かせる視点を学ぶことができた。

「ESD活動支援センター」をご活用ください

ESD活動支援センター

環境省及び文部科学省により全国センター及び地方8センターが設置されています。学校と地域、企業等をつなげる中間支援組織として、環境教育等に関する相談対応や、各主体同士の学び合いを促す取組等多くの経験と知見を有しています。学校等におけるESD推進等に当たって、ESD活動支援センターを是非ご活用ください。

<https://esdcenter.jp/>  ESD活動支援センター

学校におけるESD活動支援センターの活用例

- 環境問題をテーマとした探究学習などの授業内容・構成に関する相談や実践支援
- 環境分野に取り組む企業やNPO等の外部講師の紹介
- 児童生徒の成果発表や多様な立場・世代の人との学び合いの機会の提供
- 環境教育・ESDに関する教材・プログラムの紹介
- 教職員等を対象にした環境教育・ESDに関する研修等の紹介等

ESD (持続可能な開発のための教育)とは?

持続可能な社会の担い手を育む教育です。環境的、経済的、社会・文化的視点から、より質の高い生活を次世代も含む全ての人々にもたらすことのできる開発や発展を目指した教育であり、持続可能な未来や社会の構築のために行動できる人の育成を目的としています。

申込方法

研修公式サイト内、各コースの「お申込フォーム」に必要事項をご記入の上、送信してください。
※講師派遣型研修のみ、研修運営事務局まで直接メールでご相談ください。

研修公式サイト

<https://policies.env.go.jp/policy/eco/esd-teacher/>



研修運営事務局

E-mail : esd-kensyu@jeef.or.jp

申込締切

各研修日の1週間前

※定員に達し次第、締め切ります。

受講料

無料

※研修会場・集合場所までの旅費や昼食代等は自己負担となります。

お問い合わせ先

研修運営事務局 公益社団法人日本環境教育フォーラム内 (担当:中地・高橋)
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1階

TEL : 03-5834-2897 E-mail : esd-kensyu@jeef.or.jp

※テレワークを実施しています。
お問合せはできるだけメールでご連絡ください。

主催：環境省 協力：文部科学省

ESD

サステナビリティ

PBL

環境教育

アクティブ
ラーニング

パートナーシップ

自然体験

日本型ウェルビーイングを育む、
探究と環境教育のデザイン

カリキュラム・マネジメントを
“わかる・できる”に変える研修

社会に開かれた教育課程

ウェルビーイング

地域共創

～SDGs達成に向けた環境教育・ESD実践講座～

令和
8年度

教職員等環境教育・ 学習推進リーダー 養成研修

地域循環
共生圏

こどものエージェンシーを
育む授業づくり

里山里海

カーボンニュートラル

学校とつながるプログラムづくりへ

次期学習指導要領を見据えた
探究と環境教育の新しいかたち

環境教育・ESDの「伝わるプログラム」
をつくる力を身につける

SDGs

教科横断

ワイズ
ユース

カリキュラム・
マネジメント

未来をつくる、人をはぐくむ。

環境省では、文部科学省の協力の下、持続可能な社会の構築と個人と社会のウェルビーイングの向上に向けて、多様な主体との学び合いを通して、学校のみならず、地域におけるあらゆる場で質の高い環境教育・ESDを実践・推進するリーダーとなる人材を育成していくことを目的に、本研修を開催します。

研修内容

本研修では、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指す「カリキュラム・デザイン・コース」と、環境教育・ESDにおける体験活動をはじめとする環境教育プログラムの実践力向上を目指す「プログラム・デザイン・コース」の2つのコースを設けています。

カリキュラム・デザイン・コース

環境教育・ESDのカリキュラムをデザインするための視点を学び、教科横断で地域とつながる実践の進め方を具体的に理解しながら、学校や地域で環境教育・ESDを推進するリーダーとしての力を養うことを目的とした研修です。

プログラム・デザイン・コース

多様なフィールドでの体験活動を通して、企画・実践に必要な視点や双方向型のコミュニケーションを学び、多様な主体と共感を分かち合いながら理解を深め、環境教育プログラムをデザインする力を養うことを目的とした研修です。

受講料無料

※詳細は中面、または下記HPを参照ください。



<https://policies.env.go.jp/policy/eco/esd-teacher/>



カリキュラム・デザイン・コース

可能であれば、同じ学校の先生とお誘い合わせのご参加を推奨します。



●集合型研修 基礎編 (オンライン研修)

講義と、校種別に分かれての実践事例紹介、質疑応答等を行い、環境教育・ESDの基礎やカリキュラム・デザインのポイントについて学びます。研修会はオンライン会議システム「Zoom」を使って2回開催します。

※各回の研修は同じ内容で実施され、連続講座ではありません。

日時 〈第1回〉7月23日(木) 14:00～16:00
〈第2回〉8月1日(土) 10:00～12:00

対象 環境教育・ESDやSDGsに関心があり、取り組みを進めたい教職員、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、地方公共団体、学生等の方

定員 各回150名まで

●集合型研修 実践編 (対面研修)

小・中学校、高等学校の現職教員を主な対象とし、校種別(小・中学校チーム、高等学校チーム)に分かれて、グループワークを「対面型」で行います。同内容の研修を東京と大阪で開催します。

■小・中学校チーム:実践事例の紹介や各教科等と関連させた環境教育・ESD、SDGsの年間指導計画案(通称「ESDカレンダー」)の作成
■高等学校チーム:環境教育・ESD、SDGsを探究課題(題材)とした総合的な探究の時間の計画の作成

対象 環境教育・ESDやSDGsに関心があり、実践に取り組みたい教職員、行政関係者、教職課程履修中・修了者等、学校教育に関わる方

定員 各回100名程度

事前準備等

※事前学習として、基礎的な講義動画(30分程度)をご視聴ください。
※効果的なグループワークを実施するために、講師への質問等を記入いただくウェブフォームへの入力、事前課題シートの作成(A4・1枚以内。当日持参)を事前にご準備ください。
※研修直後の事前アンケート及び1か月後のフォローアップアンケートへのご協力をお願いします。

東京

日時 8月2日(日) 10:30～16:00

会場 ビジョンセンター品川
東京都港区高輪4-10-8京急第7ビル
JR各線・京急本線「品川駅(高輪口)」徒歩3分

大阪

日時 8月8日(土) 10:30～16:00

会場 OMM
大阪市中央区大手前1-7-31
京阪電車「天満橋」駅東口
Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅北改札口 直結

●講師派遣型研修

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して講義及びグループワークを行います。環境教育・ESD・SDGsのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、講師派遣を希望する団体のニーズに沿う形で、研修の日程・内容等を調整します。

既にESDカレンダーを取り入れている学校については、その評価手法やブラッシュアップなど学校の進捗状況に沿った研修を行うこともできます。また、ホールスクール・アプローチの向上につなげることもできます。

日程・内容 派遣先の希望等に応じて柔軟に対応します。
*講義とグループワークのセットになります。

対象 環境教育・ESDやSDGsの推進に取り組む、学校、教育委員会、地方公共団体等(全国8か所程度)

条件 ■研修参加者が原則として20名程度確保できること
■研修時間を2～6時間程度確保できること
■研修会場(教室、会議室等)を確保できること(会場借料は派遣先の負担となります)

※講師派遣、参加者への資料送付等に係る派遣先の費用負担はありません。

講師
(敬称略・五十音順)

環境教育・ESDの
実践・指導経験が
豊富な講師陣です

目白大学 人間学部
社会教育実践研究センター
社会教育特別調査員
いしだ
石田 好広

国立教育政策研究所
社会教育実践研究センター
社会教育特別調査員
かなざわ
金澤 仁美

奈良教育大学
ESD・SDGsセンター
准教授
こうの
河野 晋也

京都外国語大学
国際貢献学部 講師
こんどう
近藤 順子

町田市町田第一小学校
副校長
ささき
佐々木 哲弥

町田市立小中一貫
ゆくのき学園
武蔵岡中学校・大戸小学校
校長
すずき
鈴木 元

東京都多摩市立
豊ヶ丘小学校 校長
せきぐち
関口 寿也

筑波大学附属
坂戸高等学校
主幹教諭
たてもと
建元 喜寿

全国小中学校
環境教育研究会 顧問
たなはし
棚橋 乾

佐賀県立厳木高等学校
校長
まえだ
前田 修之

群馬県立尾瀬高等学校
非常勤講師
まつい
松井 孝夫

横浜国立大学教育学部
名誉教授
まつばくち
松葉口 玲子

プログラム・デザイン・コース



●基礎編 (オンライン研修)

学校、地域、企業等が連携した環境教育プログラムを企画・実践できるように、講義および実践事例の紹介を通して学びを深めます。研修会はオンライン会議システム「Zoom」を使って開催します。

日時 7月28日(火) 14:00～16:00

定員 無制限

対象 民間企業、NPO/NGO等で環境教育・ESDやSDGsに関わる方、または企業との連携に関心のある教職員、行政関係者等の方

●発展編 (対面研修)

民間企業およびNPO/NGOで既に環境教育・ESDの実践を行っているESD担当者・ESG担当者を対象に、現在取り組んでいる環境教育プログラムのブラッシュアップに向けた分析の視点や、成果指標(KPI等)の設定方法について学ぶ講義及びグループワークを実施します。

日時 1月16日(土) 10:00～15:00

定員 60名程度

会場 ビジョンセンター東京駅前
東京都中央区八重洲1-8-17新横町ビル
JR東京駅 八重洲中央口 徒歩1分

対象 民間企業やNPO/NGO等で環境教育・ESDの実践に取り組んでいるESD・ESG担当者の方

●実践編 (体験型研修)

持続可能な社会づくりへの主体的な参加を促進するために有効な体験活動の企画・実践力を養うことを目的とし、実際の体験活動への参加や関係者との交流、グループワークを通して学びを深めます。

対象 教職員、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、学生等で、環境教育や体験活動、地域づくりに関心のある方

※プログラム内容や定員等の詳細は研修公式サイトでご確認ください。
※①～⑥は近隣主要駅(予定)より無料送迎バスを用意する予定です。
※⑦の円山動物園会場へは、公共交通機関等のご利用をお願いいたします。

体験の機会の場

環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された「体験の機会の場」において、体験型環境教育の質の向上や専門的な人材育成が推進されることを目的に設立された「体験の機会の場」研究機構(<https://esd-place.org/>)と連携して行います。

① あおぞら財団

日程 9月5日(土)
会場 あおぞら財団付属西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)ほか(大阪府大阪市)

送迎バス発着場所 JR新大阪駅

② 株式会社京都環境保全公社

日程 10月3日(土)
会場 伏見環境保全センター(京都府京都市)

送迎バス発着場所 JR京都駅

③ ホンダモビリティランド株式会社

日程 10月31日(土)
会場 モビリティリゾートもてぎ(栃木県芳賀郡茂木町)

送迎バス発着場所 JR宇都宮駅

④ 三光株式会社

日程 11月21日(土) **会場** 三光株式会社江島工場(島根県松江市)

送迎バス発着場所 JR松江駅

⑤ 藤クリーン株式会社

日程 12月5日(土) **会場** 藤クリーンリサイクルセンター(岡山県岡山市)

送迎バス発着場所 JR岡山駅

国立公園・社会教育施設

体験の機会の場に加え、国立公園及び社会教育施設における研修も行います。

⑥ 霧島錦江湾国立公園

実施者 特定非営利活動法人くすの木自然館
日程 9月27日(日)
会場 重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアムほか(鹿児島県始良市)

送迎バス発着場所 JR鹿児島中央駅

⑦ 札幌市円山動物園

実施者 札幌市円山動物園
日程 11月7日(土)
会場 札幌市円山動物園内施設(北海道札幌市)